

Sakai & etc

2017年 10月2日

情報メディア教育研究センター

常盤 祐司

yuji.tokiwa.dc@hosei.ac.jp



Sakai



Sakai/Ja Sakai Community History

2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
Sakai Sakai/Apereero Conference ★★★★★★					 ★	 ★	 ★	 ★	  ★	 ★	 ★	 ★	 ★	 ★
 Ja Sakai Conference ★★★★★★					★ 法政大学	★ 名古屋大学	★ 熊本大学	★ 関西/大阪	★ 法政大学	★ 京都大学	★ 名古屋大学	★ 法政大学	★ 首都大学東京	★ 京都大学
 名古屋大学 					 大阪大学 OSAKA UNIVERSITY			 関西大学 THINK×ACT	 京都大学 KYOTO UNIVERSITY	 KEL KANEMATSU ELECTRONICS LTD.  NS Solutions  asahi net international 				

2011年4月1日サービスイン

日 月 火 水 木 金 土
11 4月

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

全曜日
1
 2011. 4月

H'etudes : My Workspace : ホーム - Windows Internet Explorer
https://homs.hosei.ac.jp/portal/site/~050941

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
Google

お気に入り
resizeMyBrowser LocalSakaiName Gate... Google グループ おすすめサイト H'etudes

H'etudes : My Workspace : ホーム
ページ(P) セーフティ(S) ツール(O)

H'etudes
Hosei
University

[ログアウト](#)

My Workspace

マルチメディアコンテンツ

ネットワークアプリケーション設計論

コンピュータサイエンス論

ホーム

[プロフィール](#)

[授業一覧](#)

[教材](#)

[お知らせ](#)

[画面設定](#)

[アカUNT](#)

[ユーザ支援サイト](#)

[教員向けガイド](#)

[学生向けガイド](#)

[Webシラバス](#)

[Gmail\(学生向\)](#)

現在のユーザ:

常盤 祐司

ホーム

[プロフィール](#)

[授業一覧](#)

[教材](#)

[お知らせ](#)

[画面設定](#)

[アカUNT](#)

タスク

この場所には課題が現在ありません。

時間割

	日	月	火	水	木	金	土
1							
2							
3			H6071	H6057			
4							
5							
6							
7							

授業コードにマウスカーソルを乗せると授業名がポップアップされます。

大学からのお知らせ

[オプション](#)

現在お知らせはありません。

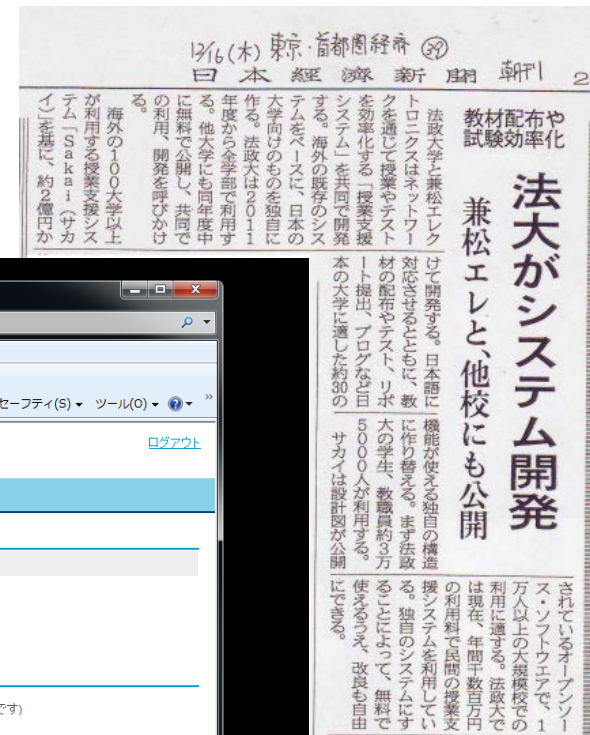
授業関係のお知らせ

[お知らせ \(最近 30 日間のお知らせです\)](#)

現在お知らせはありません。

Powered by Sakai

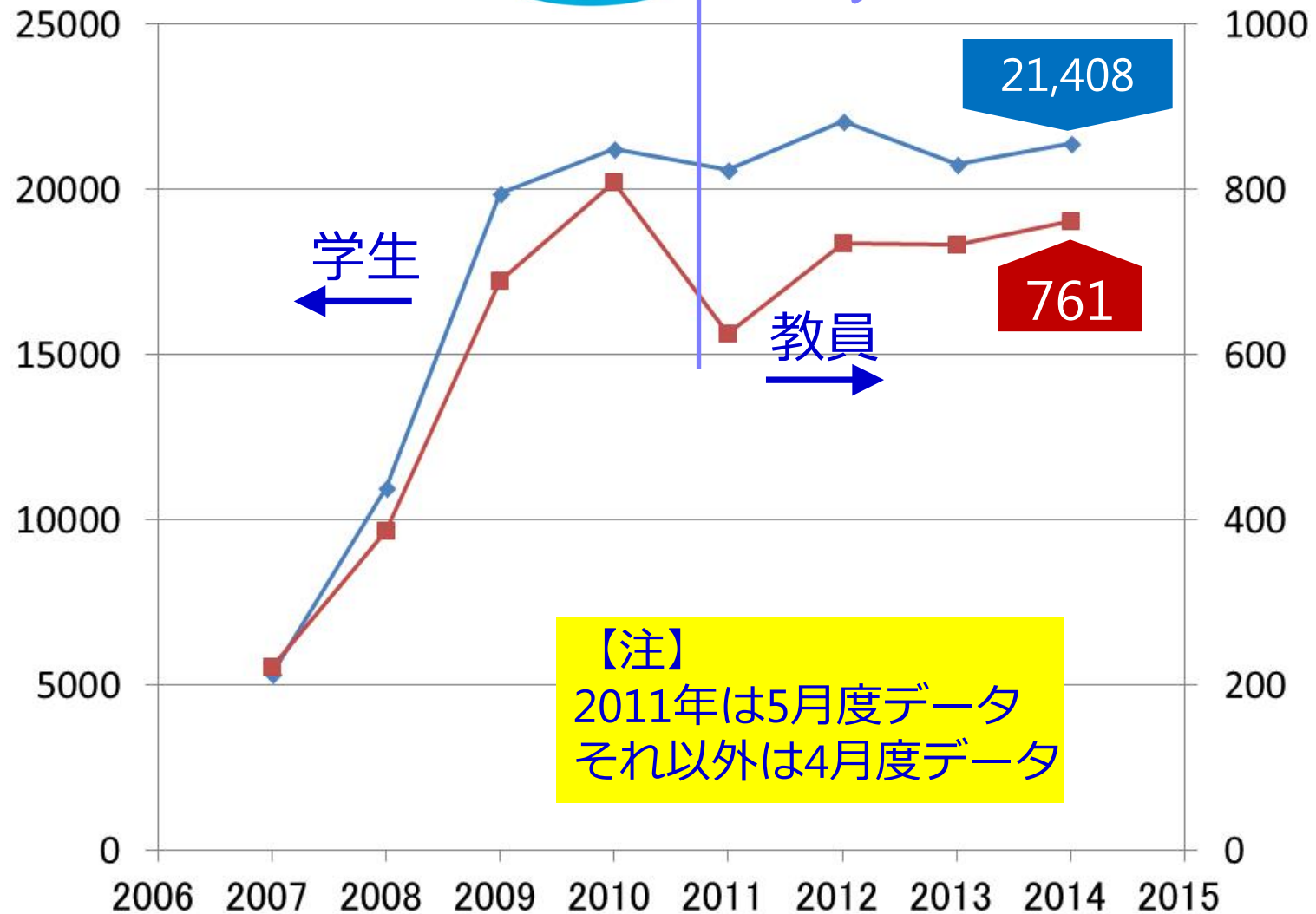
Copyright 2003-2010 The Sakai Foundation. All rights reserved. Portions of Sakai are copyrighted by other parties as described in the Acknowledgments screen.
H'etudes - Release - Sakai 2.7.1 - Server AP03



授業支援システム利用状況

Sakai

学生 (27,234人/全学)



教員(754人/専任)

Sakai2.7.1 (法政大学版)

Hetudes
Hosei University

ログアウト

My Workspace コンピュータサイエンス論 ネットワークアプリケーション設計論

ホーム お知らせ 教材 課題 テスト/アンケート グルーカー 掲示板 授業情報 名簿 成績簿 peas

ユーザ支援サイト
教員向けガイド
学生向けガイド
Webシラバス
Gmail
FD推進センター

現在のユーザ:
常盤 祐司

教材

授業教材 複数の教材を管理・ダウンロード 権限

場所: ネットワークアプリケーション設計論 教材

移動 | コピー | 削除

タイトル	アクセス	作成者	最終修正日	サイズ
ネットワークアプリケーション設計論 教材	追加	アクション		
授業改善アンケート	アクション	授業全体 常盤 祐司	2017/07/14 17:23	31 バイト
参考文献(ビデオ)	追加	アクション	2017/07/08 10:21	6個のアイテム
参考文献	追加	アクション	2017/04/17 14:46	5個のアイテム
授業で利用したPPT	追加	アクション	2017/04/12 19:46	15個のアイテム
サーバー構成実習結果(20170524)	アクション	授業全体 常盤 祐司	2017/05/26 19:00	4.6 MB
参考文献の書き方	アクション	授業全体 常盤 祐司	2017/05/23 11:14	293 KB
Dell System Config	アクション	授業全体 常盤 祐司	2017/05/22 18:49	113 バイト
How To Create A Mind Map	アクション	授業全体 常盤 祐司	2017/05/02 10:35	43 バイト
_media_query.zip	アクション	授業全体 常盤 祐司	2017/05/24 11:13	31.7 KB
_bootstrap.zip	アクション	授業全体 常盤 祐司	2017/05/12 18:28	141.4 KB
日本標準産業分類	アクション	授業全体 常盤 祐司	2017/04/20 13:54	56 バイト
Amazon Web Service ユーザ事例	アクション	授業全体 常盤 祐司	2017/04/20 13:54	52 バイト

docomo 11:45 100%

hcms.hosei.ac.jp

Sakai ネットワークア... ログアウト

授業教材 複数の教材を管理・ダウンロード 権限

場所: ネットワークアプリケーション設計論 教材

移動 | コピー | 削除

タイトル

ネットワークア...

授業改善アン...

参考文献(ビ...

参考文献

授業で利用し...

サーバー構成...

参考文献の書...

Dell System C...

How To Creat...

_media_query...

LTI ツール利用

■ In-house system

- Java プログラミング自習システム
- プレゼン相互評価ツール

■ Cengage Learning 電子書籍

■ Net Learning HTML5コース

The screenshot shows the 'Hitides' LTI configuration interface. The main title is 'プレゼン相互評価ツール peas'. It includes fields for 'Remote tool URL' (https://c11.media.hosei.ac.jp/peas-be/launch), 'Remote tool key' (hcms.hosei.ac.jp), and 'Remote tool secret'. There are sections for 'Display Information' (Button text: peas, Title: プレゼン相互評価ツール peas) and 'Start Information' (New window: checked, iFrame height: 1000px, Debug start: unchecked). A 'Class Name' section is at the bottom with a note about publishing class names.

LTI設定

The screenshot shows the 'peas' tool evaluation page. It displays the topic '課題プレゼンテーション 発表者: 稲野 直樹' and three evaluation questions (Q1, Q2, Q3) with star ratings. A message at the bottom says 'すべての項目で必ず1以上にチェックしてください。(未入力のものがある場合は提出できません。)' and the footer is '法政大学 情報メディア教育研究センター'.

プレゼン相互評価ツール

Sakai 11.4

Sakai マイワークスペース コンピュータ・サイエンス論2017

ワークサイト 常盤

コンピュータ・サイエンス論2017 > リソース

サイトリソース ゴミ箱 ファイル転送 権限 オプション クォータを確認

すべてのサイトファイル / コンピュータ・サイエンス論2017 リソース

移動 コピー ゴミ箱に移動する 表示 非表示

タイトル	アクセス	作成者	最終修正日	サイズ
コンピュータ・サイエンス論2017 リソース	アクション			
授業で利用したPDF	アクション	サイト全体	常盤 祐司 2017/09/19 18:03	3個のアイテム
FD-Handbook	アクション	サイト全体	常盤 祐司 2017/09/19 18:01	36 バイト
report-A4_H6057_sample1.pdf	アクション	サイト全体	常盤 祐司 2017/09/19 18:01	158.4 KB
これまでの事例.pdf	アクション	サイト全体	常盤 祐司 2017/09/19 18:01	216.8 KB
QATube	アクション	サイト全体	常盤 祐司 2017/09/19 18:02	32 バイト

他のサイトからコンテンツをコピー

チャット

docomo 18:08 88%

c22.media.hosei.ac.jp

Sakai

ツール ワークサイト

コンピュータ・サイエンス論2017 > リソース

サイトリソース ゴミ箱 権限

オプション クォータを確認

すべてのサイトファイル / コンピュータ・サイエンス論2017 リソース

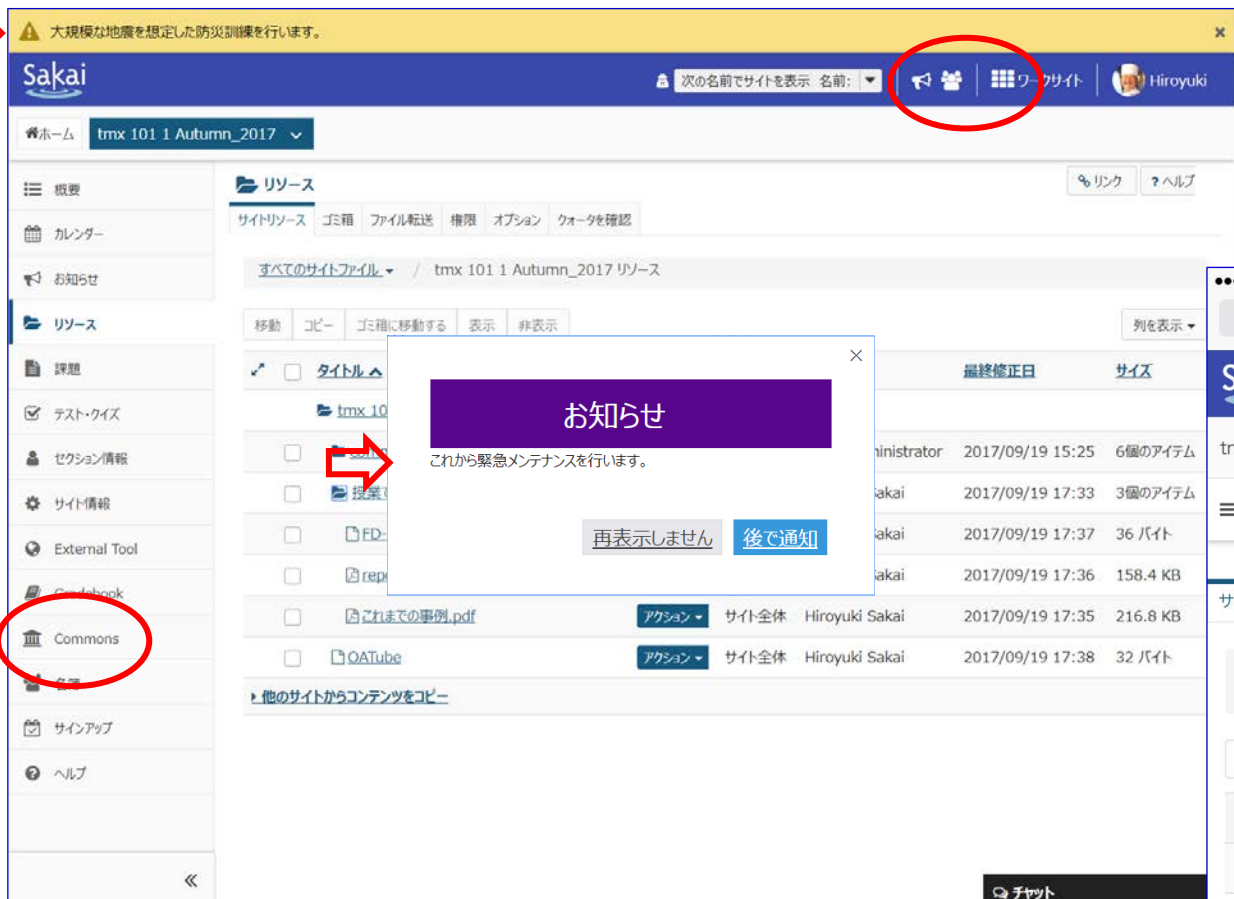
移動 コピー ゴミ箱に移動する 表示 非表示

コンピ...

授業で...

チャット

Sakai Trunk (最新版 = Sakai 13)



大規模な地震を想定した防災訓練を行います。

Sakai

次の名前でサイトを表示 名前: ▼

ワークサイト | Hiroyuki

ホーム tmx 101 1 Autumn_2017 ▼

概要
カレンダー
お知らせ
リソース
課題
テスト・クイズ
セクション情報
サイト情報
External Tool
Googlebook
Commons
サインアップ
ヘルプ

リソース

サイトリソース ゴミ箱 ファイル転送 権限 オプション クォータを確認

すべてのサイトファイル ▼ / tmx 101 1 Autumn_2017 リソース

移動 コピー ゴミ箱に移動する 表示 非表示

お知らせ

これから緊急メンテナンスを行います。

再表示しません 後で通知

最終修正日 サイズ

最終修正日	サイズ
2017/09/19 15:25	6個のアイテム
2017/09/19 17:33	3個のアイテム
2017/09/19 17:37	36 バイト
2017/09/19 17:36	158.4 KB
2017/09/19 17:35	216.8 KB
2017/09/19 17:38	32 バイト

他のサイトからコンテンツをコピー

チャット

*お知らせはログイン時に表示されます。



docomo 17:40 88%

c4.media.hosei.ac.jp

Sakai

tmx 101 1 Autumn_2017

ワークサイト

ツール リソース

サイトリソース ゴミ箱 権限 オプション クォータを確認

すべてのサイトファイル ▼ / tmx 101 1 Autumn_2017 リソース

移動 コピー ゴミ箱に移動する 表示 非表示

tmx 101 1 Autumn_2017 ...

commons

授業で& ...

OATube

チャット

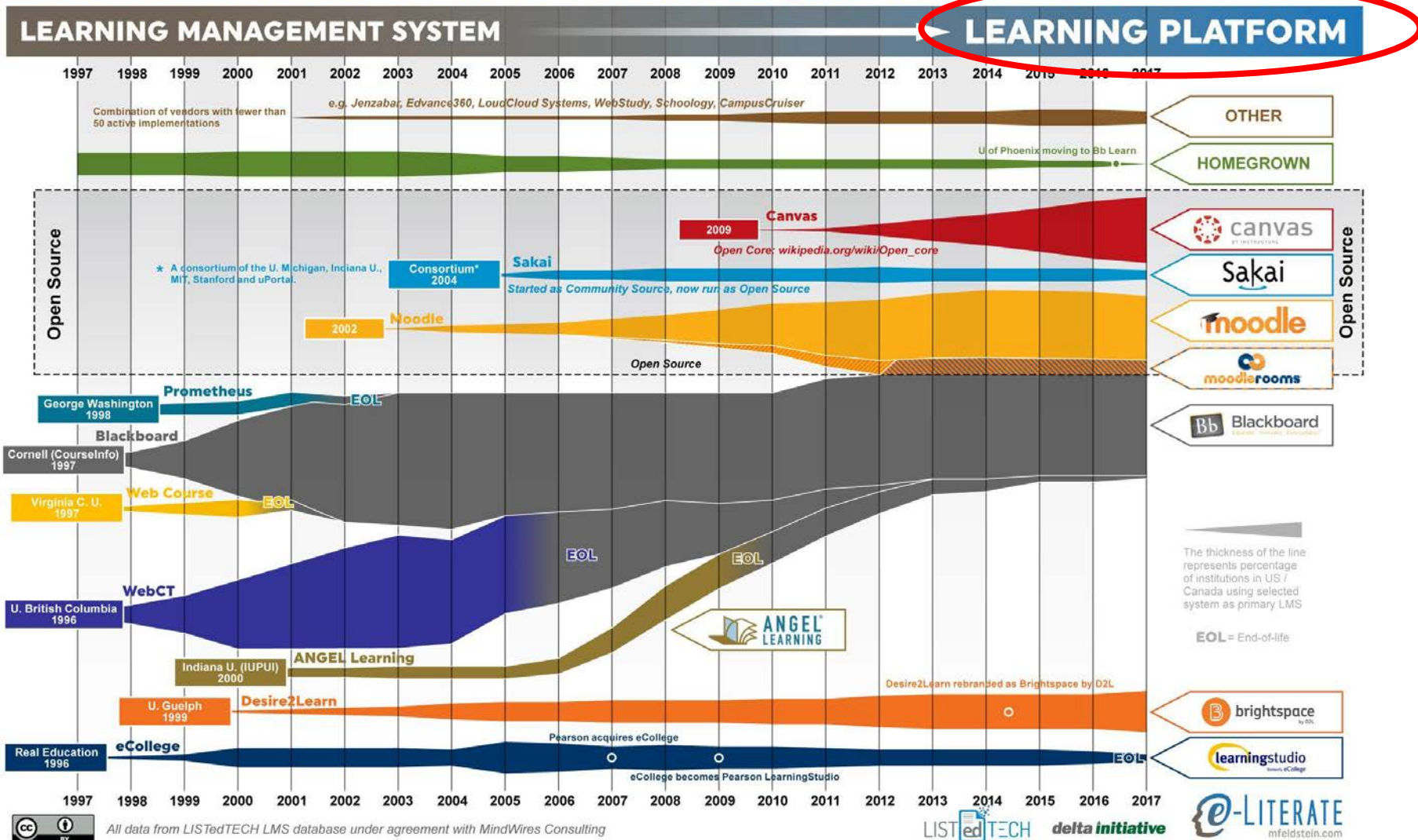
Sakai Trunk 機能一覧

No	名称	概要
1	概要	最新のお知らせ, ディスカッション, チャットアイテムなど, サイトの概要をみるツールです.
2	Commons	A Facebook style wall for worksites
3	Gradebook	The next generation gradebook tool for the Sakai CLE
4	News	For viewing content from RSS News Feeds
5	PostEm	個別のテキストをサイトのユーザに投稿する
6	Wiki	ページやコンテンツの共同編集のためのツールです.
7	お問い合わせ	サイトコンテンツと機能をレポートするためのツールです.
8	お知らせ	最新の情報を時間を決めて投稿するためのツールです.
9	ウェブコンテンツ	サイト内で内部のウェブサイトアクセスするためのツールです.
10	カレンダー	締切やイベントなどを投稿したり表示したりするためのツールです.
11	サイト情報	ワークサイト情報やサイト参加者を表示するためのツールです.
12	サインアップ	ミーティングおよび他のイベントのオンライン登録を有効にします
13	セクション情報	サイト内のセクションを管理するためのツールです.
14	チャットルーム	文字ベースの会話をリアルタイムで行うためのツールです.
15	テスト・クイズ	オンラインテストやクイズを作成したり受験したりするためのツールです.
16	フォーラム	特定のサイトのフォーラムおよびトピックを表示するためのツールです.
17	ポッドキャスト	個々のポッドキャストやポッドキャストフィード情報を管理するためのツールです.
18	メッセージ	ある特定のサイトのユーザからまたはユーザへのメッセージを表示するためのツールです.
19	メール	サイトの参加者を選択してメールを送信します.
20	メールアーカイブ	サイトに送信されたメールを表示するためのツールです.
21	リソース	文書や URL を他のウェブサイトなどに投稿するためのツールです.
22	レッスン	コンテンツモジュールおよびシーケンスを作成するために, 週もしくは単位ごとにまとめることができます.
23	名簿	サイト参加者一覧を表示するためのツールです.
24	外部ツール	IMS Learning Tool Interoperability (LTI) を用いた外部ツールを起動するためのツールです.
25	意識調査	匿名で意識調査や投票ができるツールです.
26	授業計画	授業のアウトラインや受講に必要な事項を記述するためのツールです.
27	提出箱	担当者と受講者との間で非公開のファイルを共有するためのツールです.
28	検索	コンテンツを検索するためのツールです.
29	統計量	サイトにおけるユーザやイベント, リソースに関するサイト統計情報を表示するためのツールです.
30	課題	オンラインで課題を投稿したり, 提出したり, 採点したりするためのツールです.
31	PA System	Public Address (公衆伝達)システム

 New
 IMS Standard

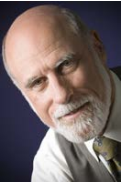
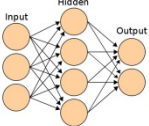
LMS Market Share For US & Canadian Higher Ed Institutions

SPRING 2017
VERSION



出典 : e-Literate, State of Higher Ed LMS Market for US and Canada: Spring 2017 Edition,
<http://mfeldstein.com/state-higher-ed-lms-market-us-canada-spring-2017-edition/>

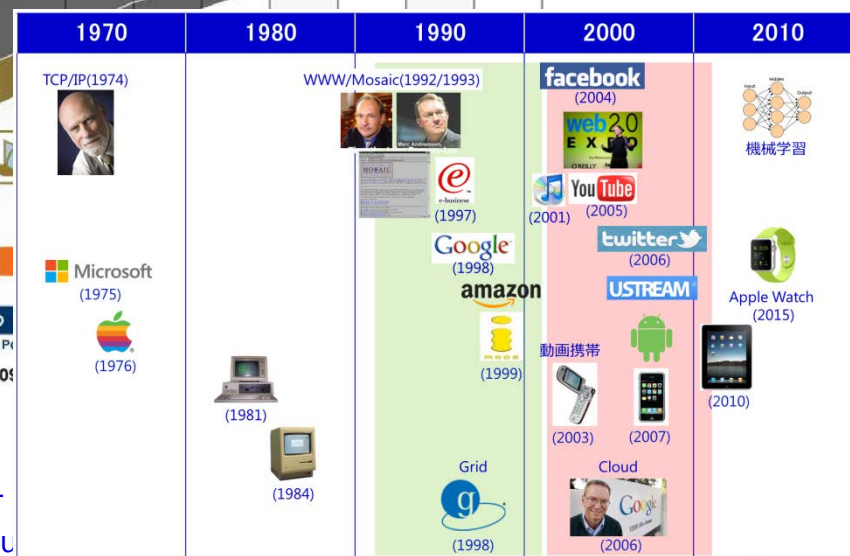
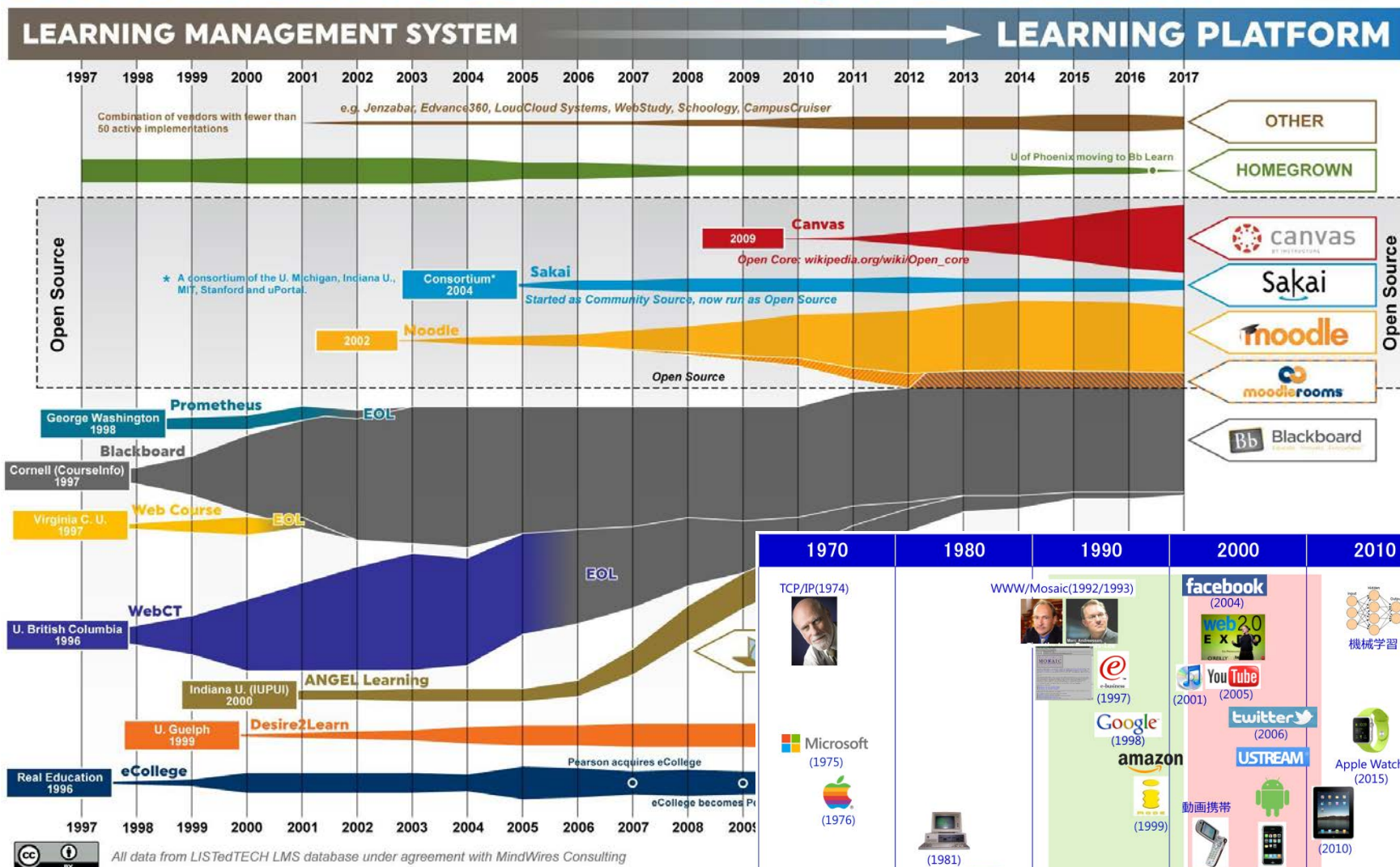
現在のIT社会の礎

1970	1980	1990	2000	2010
TCP/IP(1974)   Microsoft (1975)  (1976)	 (1981)  (1984)	WWW/Mosaic(1992/1993)     (1997)  (1998)   (1999) Grid  (1998)	facebook (2004)   (2001)  (2005)  (2006)  動画携帯  (2003)   (2007) Cloud  (2006)	 機械学習  Apple Watch (2015)  (2010)

イメージ出典： 各社ホームページ

LMS Market Share For US & Canadian Higher Ed Institutions

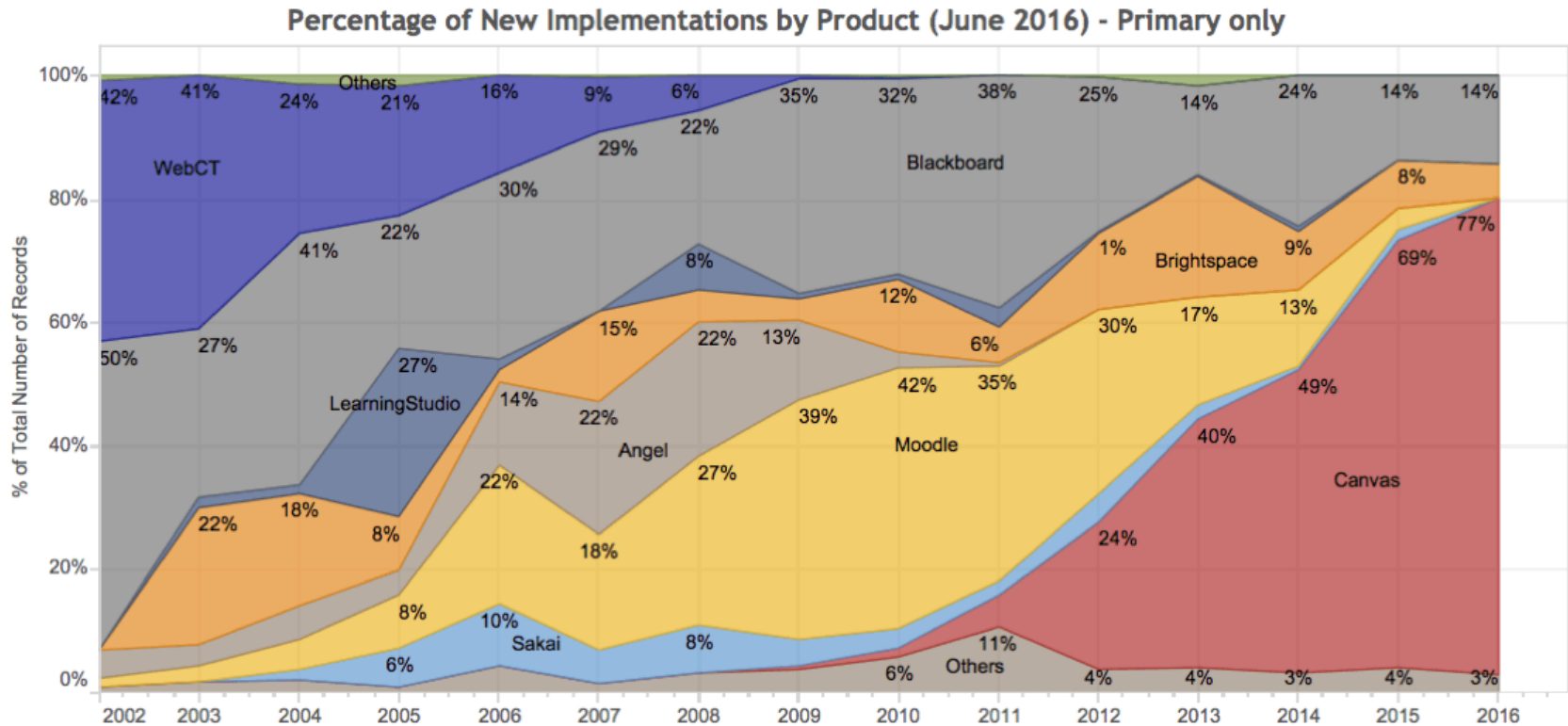
SPRING 2017
VERSION



出典 : e-Literate, State of Higher Ed LMS Market for
<http://mfeldstein.com/state-higher-ed-lms-market-u>

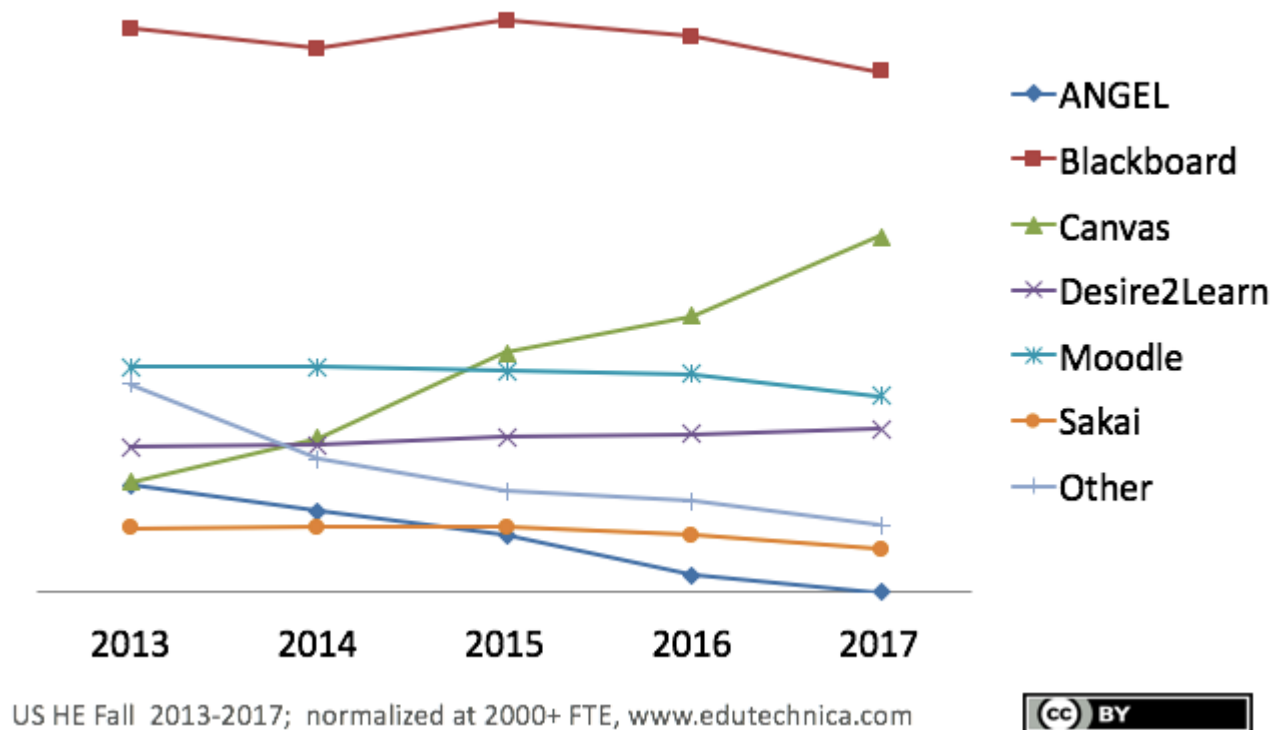
LMS New Implementations

新規導入ではCanvasが3/4を占めている



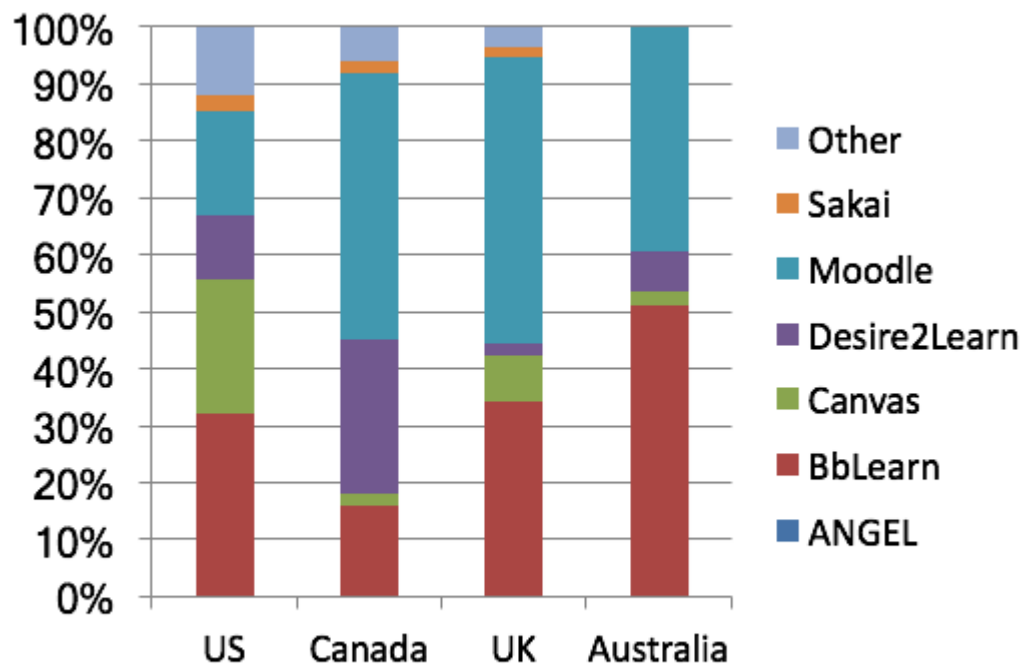
米国におけるLMS導入数の推移

件数



出典 : edutechnica, 5th Annual LMS Data Update
<http://edutechnica.com/2017/09/17/5th-annual-lms-data-update/>

地域別LMS導入数割合

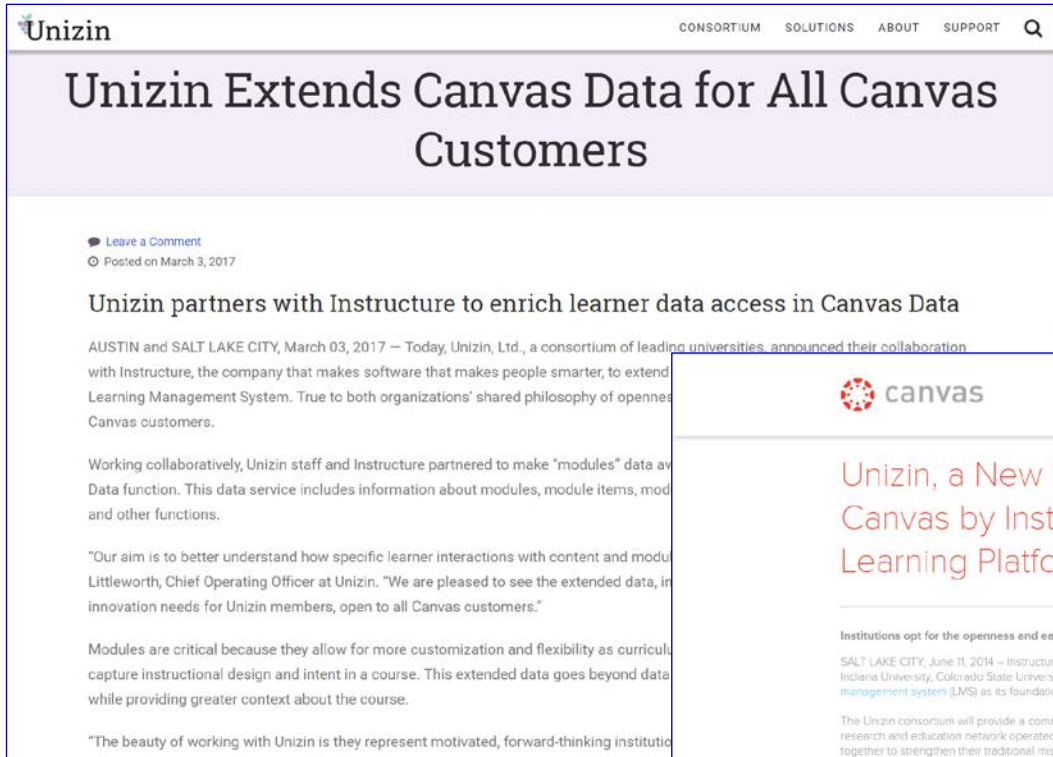


Fall 2017 global snapshot; www.edutechnica.com



出典 : edutechnica, 5th Annual LMS Data Update
<http://edutechnica.com/2017/09/17/5th-annual-lms-data-update/>

Unizin & Canvas



Unizin

CONSORTIUM SOLUTIONS ABOUT SUPPORT

Unizin Extends Canvas Data for All Canvas Customers

Leave a Comment
Posted on March 3, 2017

Unizin partners with Instructure to enrich learner data access in Canvas Data

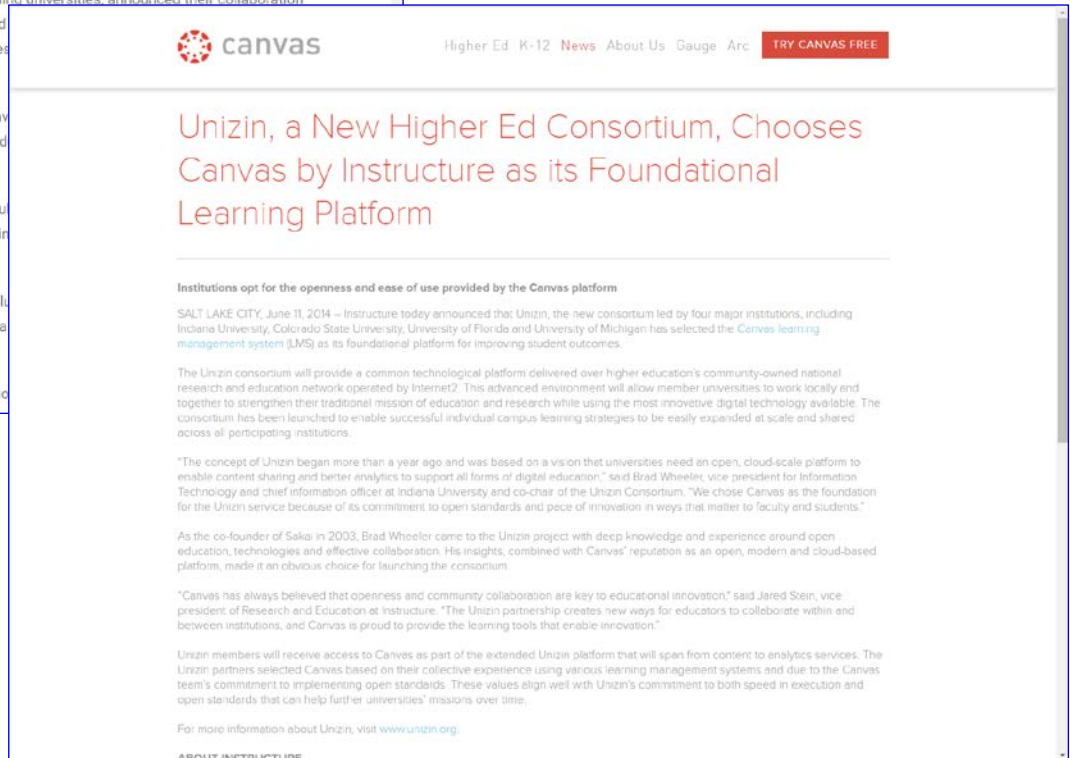
AUSTIN and SALT LAKE CITY, March 03, 2017 — Today, Unizin, Ltd., a consortium of leading universities, announced their collaboration with Instructure, the company that makes people smarter, to extend Learning Management System. True to both organizations' shared philosophy of openness, Canvas customers.

Working collaboratively, Unizin staff and Instructure partnered to make "modules" data available in Canvas Data function. This data service includes information about modules, module items, module groups, and other functions.

"Our aim is to better understand how specific learner interactions with content and modules can be used to improve learning outcomes," said Brad Littleworth, Chief Operating Officer at Unizin. "We are pleased to see the extended data, in addition to the existing data, in Canvas Data, which is an innovation needs for Unizin members, open to all Canvas customers."

Modules are critical because they allow for more customization and flexibility as curriculum is designed. This extended data goes beyond data that is currently available in Canvas Data while providing greater context about the course.

"The beauty of working with Unizin is they represent motivated, forward-thinking institutions that are committed to open standards and open innovation."



canvas

Higher Ed K-12 News About Us Gauge Arc TRY CANVAS FREE

Unizin, a New Higher Ed Consortium, Chooses Canvas by Instructure as its Foundational Learning Platform

Institutions opt for the openness and ease of use provided by the Canvas platform

SALT LAKE CITY, June 11, 2014 — Instructure today announced that Unizin, the new consortium led by four major institutions, including Indiana University, Colorado State University, University of Florida and University of Michigan has selected the [Canvas learning management system \(LMS\)](#) as its foundational platform for improving student outcomes.

The Unizin consortium will provide a common technological platform delivered over higher education's community-owned national research and education network operated by Internet2. This advanced environment will allow member universities to work locally and together to strengthen their traditional mission of education and research while using the most innovative digital technology available. The consortium has been launched to enable successful individual campus learning strategies to be easily expanded at scale and shared across all participating institutions.

"The concept of Unizin began more than a year ago and was based on a vision that universities need an open, cloud-scale platform to enable content sharing and better analytics to support all forms of digital education," said Brad Wheeler, vice president for Information Technology and chief information officer at Indiana University and co-chair of the Unizin Consortium. "We chose Canvas as the foundation for the Unizin service because of its commitment to open standards and piece of innovation in ways that matter to faculty and students."

As the co-founder of Sakai in 2003, Brad Wheeler came to the Unizin project with deep knowledge and experience around open education, technologies and effective collaboration. His insights, combined with Canvas' reputation as an open, modern and cloud-based platform, made it an obvious choice for launching the consortium.

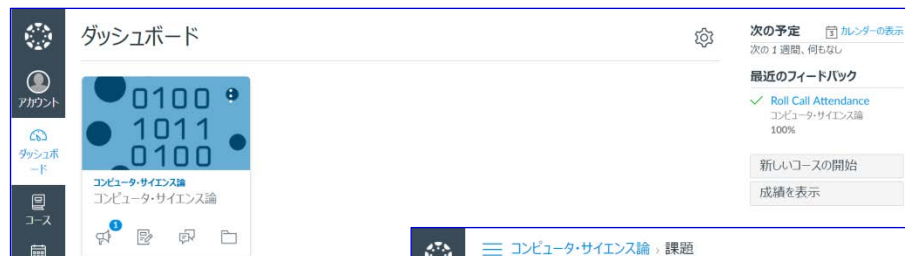
"Canvas has always believed that openness and community collaboration are key to educational innovation," said Jared Stein, vice president of Research and Education at Instructure. "The Unizin partnership creates new ways for educators to collaborate within and between institutions, and Canvas is proud to provide the learning tools that enable innovation."

Unizin members will receive access to Canvas as part of the extended Unizin platform that will span from content to analytics services. The Unizin partners selected Canvas based on their collective experience using various learning management systems and due to the Canvas team's commitment to implementing open standards. These values align well with Unizin's commitment to both speed in execution and open standards that can help further universities' missions over time.

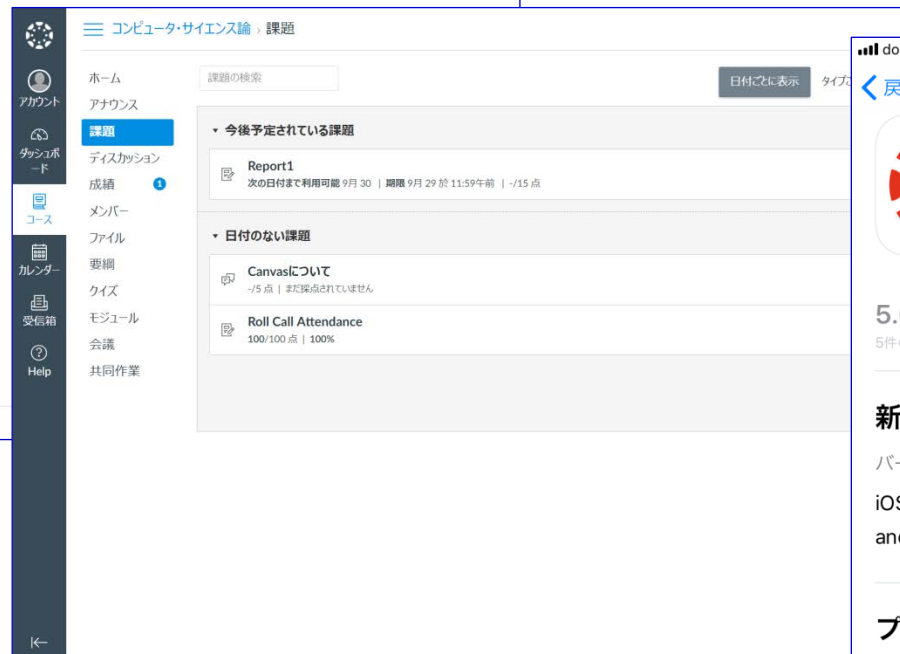
For more information about Unizin, visit www.unizin.org.

ABOUT INSTRUCTURE

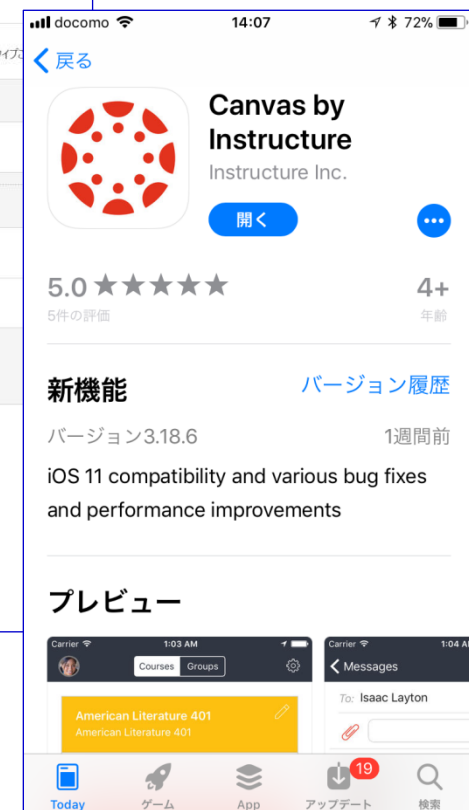
Canvas – 基本機能



ダッシュボード



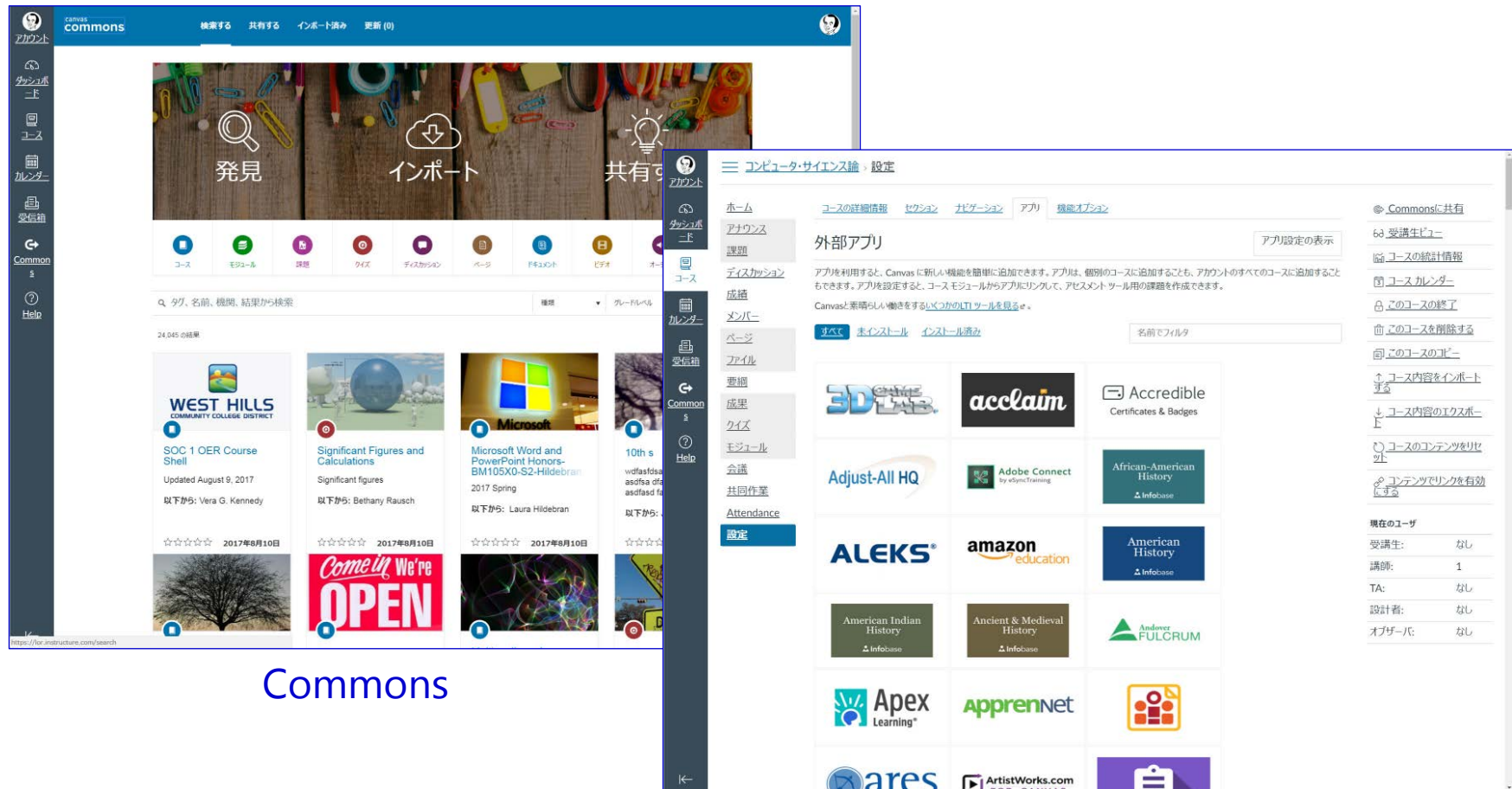
コース



モバイル アプリ

Canvas – Commons & 外部アプリ

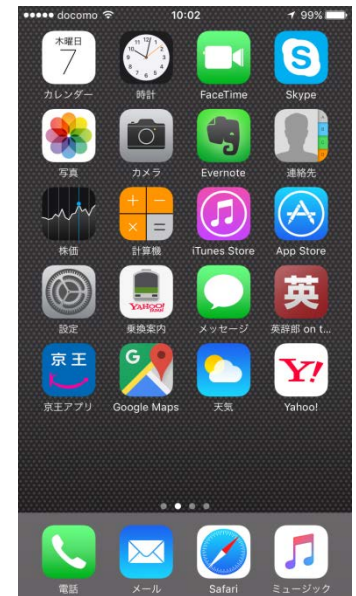
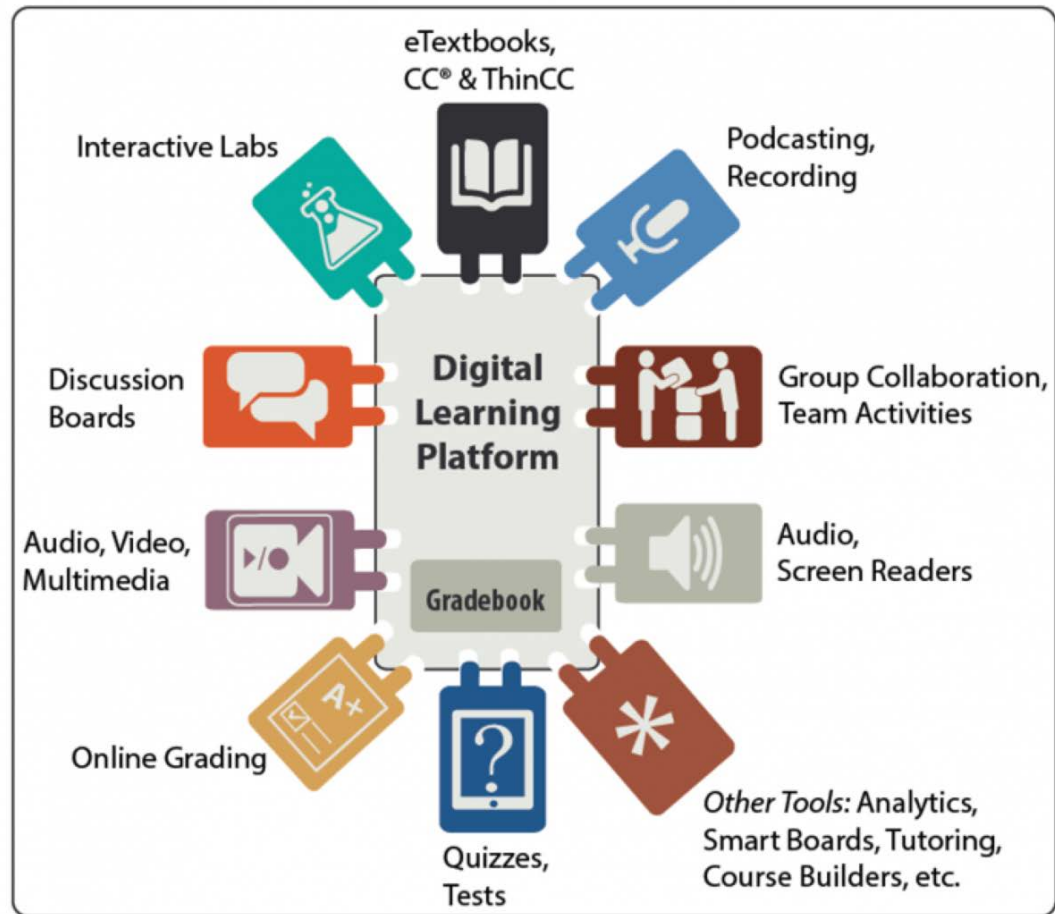
クラウドベースであり、かつ外部アプリやコンテンツによる拡張ができる



Commons

open LTI app collection

教育アプリのPlug & Play



Cloud Campus –サイバーユニバーシティ株式会社

クラウドベースであり、かつLTIにて他のLMSにコンテンツを提供できる

Cloud Campus（教育機関向け）

日本の教育にもっとICTを。教育機関がeラーニングを活用するにあたっての幅広いニーズにお応えします。



日本初のインターネット大学が開発した、eラーニングプラットフォーム。
カンタン操作で充実した機能を使いこなせます。



LTI®連携（LMS連携）

2017.08.25

「大学の反転授業を、Cloud Campusで実現！」
ストーリー仕立てのムービーでご紹介します



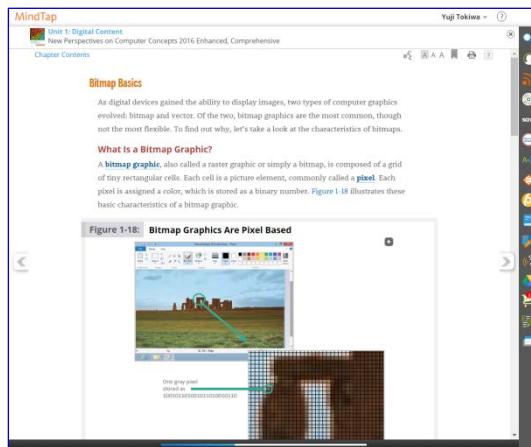
パソコンがニガテな吉田先生。しかしCloud Campusを使って、一人でもあつという間に授業コンテンツをつくることができました。

■Cloud Campus（教育機関向け）の製品紹介ページは[コチラ](#)。

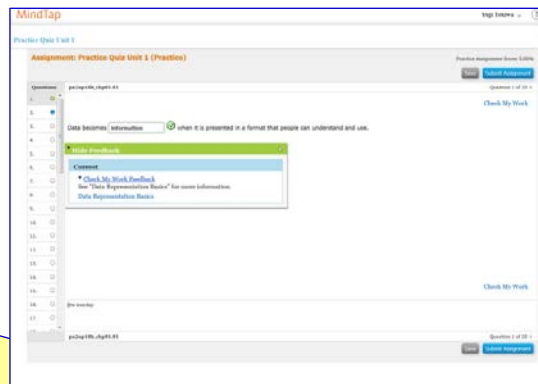


MindTap – Cengage Learning

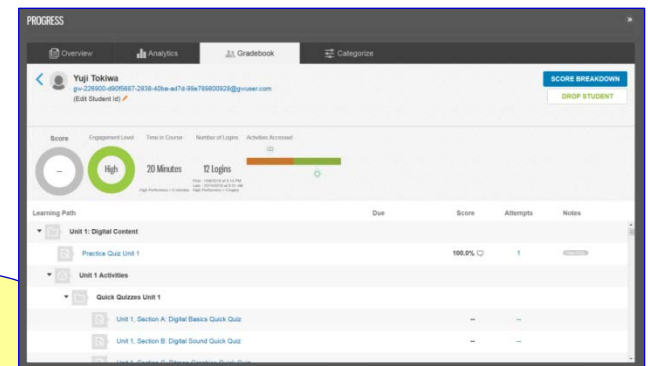
クラウドベースであり、かつLTIにて他のLMSに電子書籍を提供できる



オンラインテキスト



オンラインテスト



学生ごとの
学修管理



LearningOS

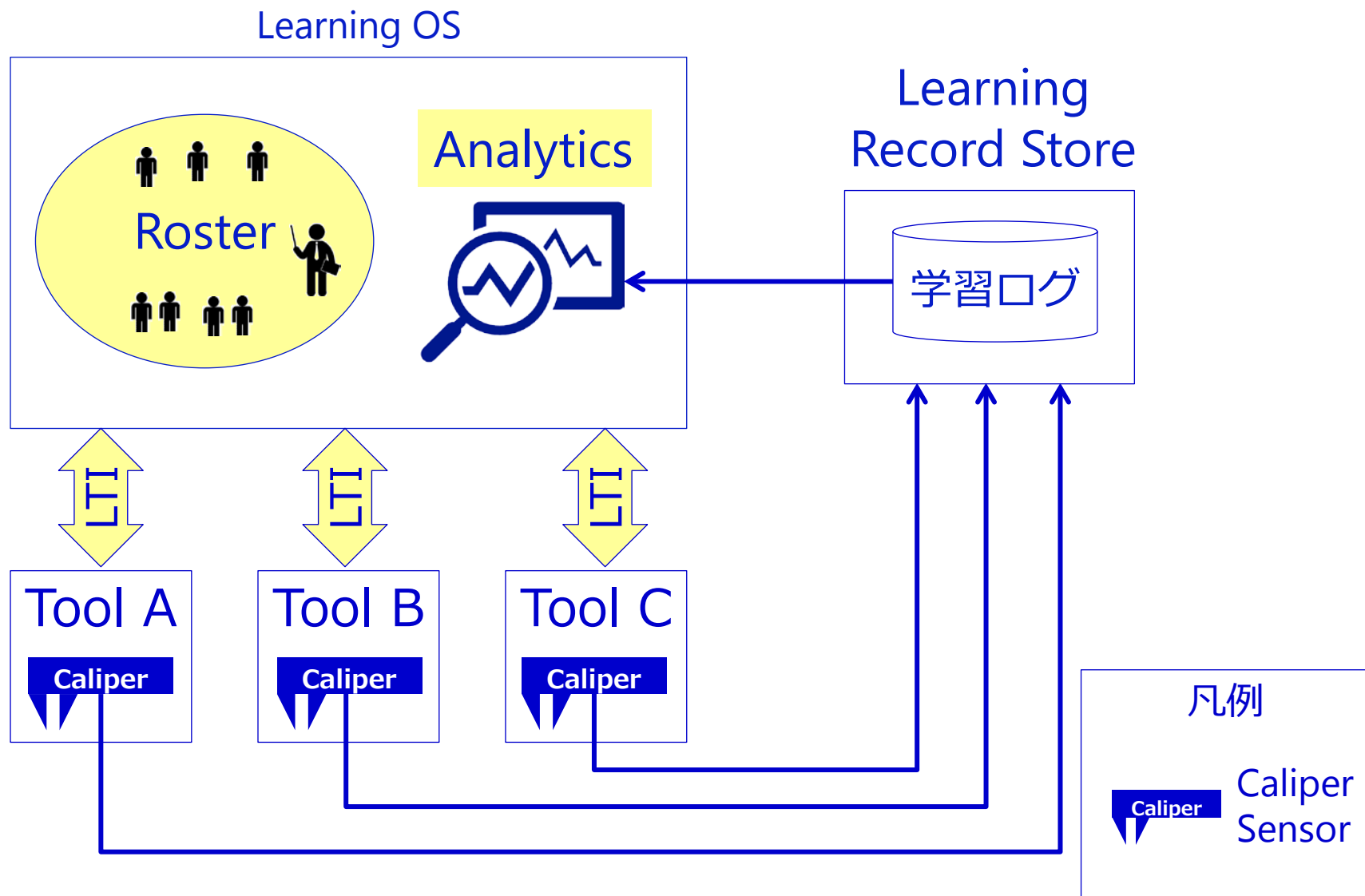
An overbuilt learning management system encumbers learning with too many features and options that require too much time to learn, customize, and perhaps disable.


$$\text{LEARNINGOS} = (\text{ROSTER} + \text{ANALYTICS})^{\text{LTI}}$$

At its core, LearningOS is a roster, analytics, and connection to other learning nodes through IMS LTI (learning tools interoperability).

Source: EDUCAUSE, LearningOS: The Now Generation Digital Learning Environment
<https://er.educause.edu/articles/2017/8/learningos-the-now-generation-digital-learning-environment>

LearningOSによるシステム - 私案





法政大学

HOSEI University

2017年度 年次大会 開催概要

2017年度年次大会は、以下の通り行われます。
多数のご参加をお待ちしております。

開催日時

2017年12月13日（水）～15日（金）

会場

 広島国際会議場 （ アクセス、 Google Map）
〒730-0811 広島市中区中島町1番5号（平和記念公園内）

主催

一般社団法人 大学ICT推進協議会

共催

国立大学法人 広島大学

後援

文部科学省、広島県、広島市、広島県教育委員会、広島市教育委員会

参加対象者

高等教育機関及び学術研究機関において、情報通信技術を利用した教育、研究、経営等に携わる教職員。高等教育機関向けICT活用製品を提供する企業。大学ICT推進協議会の会員非会員機関に関わらず参加可能。

開催趣旨

大学ICT推進協議会の目的である我が国の高等教育機関及び学術研究機関における情報通信技術を利用した教育、研究、経営等の高度化を図り、もって我が国の教育、学術研究、文化及び産業の発展に寄与するために、会員ならびに国内の高等教育・学術研究機関間で、各種専門的情報の提供ならびに交換を行います。



教育技術開発部会 企画セッション

年月日：2017年12月15日(金) 9:00 – 10:30

テーマ：

「LTIを介した産学協同による学習環境の構築と課題」

プログラム：

9:00 – 開会

9:10 – 下記それぞれ20分

- 早稲田大学 Course N@vi と Turnitin
- 京都大学 Sakai と Kaltura
- 法政大学 Sakai と NetLearning

10:10- 会場とのQ&A

10:30 閉会